



ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

2013-14年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

山形南ロータリークラブ会報



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：ロン D・バートン 2800地区ガバナー：新関 彌一郎 ガバナー補佐：高橋 一夫

会 長：松田 勝彦 幹 事：菊地 賀治 会報委員会 委員長：土田 貴英

委 員：金田 亮一 阿部 浩一 太田 昭一 出山 和彦 東内 修司

第2023回例会

2013-12/24 (火) 天気 (曇り)

□例会場：ホテルキャッスル

□点 鐘：PM 12:30 松田 勝彦 会長

□司会進行 (SAA)：坂入 文人 君

□ロータリーソング：「山形南RCの歌」

会長挨拶



皆さんこんにちは。17日のクリスマス家族会大成功でした。関係者の方々大変ありがとうございました。中央高校の校長先生からも生徒もご家族の方も喜んでいらっしゃったということでありがとうございます。私の孫たちもご馳走もよかったということで喜んでおりました。関係者で試食会をして準備したのがよかったと思います。

料理の話で今年を締めくくりたいと思います。フランス料理の食文化パート2になりますが、現在、フランスの女性は80～85%仕事を持っており、そのため家庭では、冷凍食品の使用が増えているそうです。しかし、週末には、家庭で友人・知人を集めて料理を楽しむという

ことです。特に家族では、時間をかけて楽しく食事するのが常のようです。フランス料理に一番合う飲物はワインですが、若い方があまり飲まなくなっております。ドイツ・ベルギーではビールがよく飲まれており、塩辛いもの、脂っこいものに合います。ウイスキーは、欧州では水割りしないでオンザロックにして飲む。ウイスキーは味を壊してしまうということで、フランス料理の時は飲まないそうです。フランスは、家族では毎日1回家族全員揃ってコミュニケーションをとり、ゆっくり食事をするとのこと。又、特に大事なものは、好きな人と食事をする。男女交互に座って楽しい会話が增多するように皆さんも心がけて食事をして頂ければと思います。

本日のお客様は、山形市体育協会樋口孝司様です。ゆっくりお話をお聞きたいと存じます。

幹事報告

菊地 賀治 幹事

先週のクリスマス家族会は、大勢の参加を頂きまして誠にありがとうございました。

山形県立中央高等学校さんからのゲストの方々も、非常に喜ばれていた様です。

改めて、松田会長並びに金子社会奉仕委員長に御礼申し上げます。幹事報告をいたします。

来年1月7日は、新春御祈禱と新年会をパレスグランデールにて18時30分より開催致します。

新春最初の例会ですので、皆様お忘れのない様にお願いします。

下期会費請求の準備をしております。お手元に届きましたら、ご入金をお願い致します。

来年1月のロータリーレートは、1ドル102円になります。

以上幹事報告終わります。

委員会報告

■ニコニコBOX 谷口 義洋 君

金子 靖二君 社会奉仕委員長として中央高校にご招待に行き参りました。皆さんから喜んで頂きありがとうございました。

長沢 一好君 本日のゲスト樋口様には大変お世話になっております。

坂入 文人君 22日に蔵王温泉で裸の写真を撮られました。23日の朝日新聞見てください。

大久保章宏君 村山ローズクラブのクリスマス例会にご招待されました。

浅野 裕幸君 クリスマス家族会ありがとうございました。太田委員長に代わりお礼申し上げます。

菊川 明君 クリスマス家族会にキラキラ会参加ありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。

松田 勝彦君 クリスマス家族会ありがとうございました。本日が上期最後の例会です。下期も宜しくお願い致します。

山形市体育協会 樋口 孝司様

本日は卓話ありがとうございました。

◇1月の記念日◇

会員誕生日 伊勢 和正 君・青山治右衛門 君・土屋 瞬 君
太田 昭一 君・鈴木 政康 君・阿部 薫 君
長谷川清彦 君・武田 和夫 君・出山 和彦 君
堀 是治 君・長沢 一好 君
結婚記念日 該当者なし
奥様誕生日 渋谷 一男 君・齋藤 源七 君・中村 篤 君
伊藤 誠 君・金田 亮一 君
企業創立記念日 渋谷 一男 君

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月 曜 日

山形西 山形イブニング

火 曜 日

山 形 中 央

水 曜 日

山 形

木 曜 日

山 形 北

金 曜 日

山 形 東



山形まるごとマラソンについて



公益財団法人 山形市体育協会

常任理事兼事務局長 樋口孝司 様

10月6日(日)第1回山形まるごとマラソンが開催されました。5年も前から山形市へは開催の要望があり、2年前に今年度の開催を決定しました。今や市民マラソン大会は、日本各地で毎週のように開催され、形はいろいろですが1,800以上の大会が開催されていると聞いています。県内でも、東根・酒田・長井・南陽・山辺など多くの市町で開催されています。県都山形市での開催は、多くの方から要望がありました。

初めての開催ということで、「さくらんぼマラソン」「酒田マラソン」「仙台マラソン」を準備期間の二年間視察に行きました。実際担当している方にも話を聞き、山形に当てはめ準備をすすめてきました。

そこでたどり着いた山形市で開催するマラソンは、山形市の中心市街地と城下町の歴史と伝統ある景観、山形の秋の風物詩である「いも煮会」で賑わう馬見ヶ崎河畔をマラソンコースで結ぶことにより、県内外から多くの観光客を呼び込み、加えて山形市の自然、歴史、文化、食、人情など、山形の魅力を全国に発信して「山形市をまるごと満喫していただく」ことを大きなねらいとしました。したがってコース的には、山寺や蔵王と言う観光地ではなく、山形市の中心部にある霞城公園、駅前、七日町、いも煮の会場である馬見ヶ崎河畔が必ず入ったコースにしようという結論になりました。今回のコースを決定するまで一年かかりました。

当初机上で考えていたコースで、関係者に説明を行っていたのですが、交通規制の時間を短くしたいためやむをえず駅前周辺を変更しました。実行委員会の中でも、駅前商店街やすずらん街商店街、山交ビルからは、どうして我々のところを通らないのか、なんで変更になったのかというような抗議の声がありました。事情を説明しましたが、今後開催するならば必ずコースに入れてくれとの要望があり、来年度開催の課題となっています。コースに入れることを前提に決定しなければと思っています。

今年の3月末に修正したコースが、やっと警察からの許可が出てコースが決定し、第2回の実行委員会を開催しました。新年度に入り、ホームページに概要をたちあげ、大会周知のポスターを作成しました。この時点で少々あせりも出てきたところです。こういった作業と同時にゲストランナーの招致を進めました。

ゲストランナーについては、今回来ていただいた野口みずきさんについては、アテネオリンピックの金メダリストで実績は申し分なくぜひ招致したいと思っていました。と言うのも、アテネオリンピック当時のランニングパートナーでアテネまで一緒に行った齋藤梢が私ども体協で嘱託職員として働いており、今も個人的に付き合いもあり気軽にお話しできる関係でした。当時野口さんは、成績がいまいちだったのですが、今年に入って、国際陸上の予選を兼ねた名古屋マラソンで3位になり日本代表になりました。また、仙台のハーフマラソンで優勝したりと完全に復活しました。今回のまるごとマラソンでは、間近に所属会社のチームのエースとして駅伝を控えており、自身のコンディション維持のため、ハーフマラソンを完走することはしませんが、市民との交流など全日程を精力的にこなしていただきました。ビッグネームですので、喜んでいただけたと思います。

もう一人の谷川真理さんは、日本女子長距離界を牽引してきた方で、経験も豊富でタレントとして活躍しており、全国的に人気があり、話でも皆さんを盛り上げてくれるということで招待しました。

谷川さんは、直前にケガをして、ハーフを走ることができなく、4.2195kmを走っていただきました。しかし、走る以外の開会式でのセレモニーや表彰式などで期待どりの役割をこなしてくれました。

大会開催には、多くの業者がかかわりました。山形市の業者でできる分は、山形市の業者にお願いしましたが、大会全体の企画運営にかかわる部分、スポーツセンター内の会場設営部分は、県外の業者にお願いしました。スポーツセンターの会場設営は、リース会社をお願いしました。

その他は山形の業者にお願いしました。今思うと事務局で分担してやってきましたが、ほとんど不都合はなく、業者との打合せなどよくやったなぁと思います。

私たちが、今大会の成功に向けて一番力を入れたのが市民の盛り上がりです。いろいろな大会に参加した人から「何が一番うれしいですか?」と聞くとほとんどの人が真っ先に「沿道の声援」と答えました。はたして山形は大丈夫だろうか。「おもてなし」は大丈夫だろうか。不安がよぎりました。いよいよハーフのスタートのピストルが鳴り3,000人がスタートしました。3,000人がスタートするという、最初から最後まで3分間かかります。最後のランナーが出て行ったとき、今までの苦勞が吹っ飛ばすような感じで、胸にジーンときて涙が出てきました。でも沿道で応援してくれる人があるだろうか。パフォーマンスやってくれるだろうかとずうっと不安でした。本部で仕事をやっている私にとって、ここから外に出ることもできず、先導者が帰ってきたとき、沿道の観客の状況などを聞きました。大勢の人が沿道に出て応援し、大変な盛り上がりだったこと、パフォーマンスが素晴らしかったり、商店街でのサービスも素晴らしかったと聞きほっとしたのを覚えてます。

本大会は、主催者、企業や各種団体、市民が一体となって開催することにより、山形市全体が盛り上がり、元気な街づくりの一翼を担うことについても目的としました。PR、説明会を行っていく中で、皆さんには、今大会開催を理解していただき多くの協力をいただきました。一つは協賛です。金融機関、農業団体、スポーツ用品店、各種企業などお金や物品などを予定した予算以上の協力を頂きました。二つ目にはボランティアです。町内会、スポーツ推進委員、高校生など1,000人近くの市民から参加していただき全ての力を結集して大会が開催されました。三つ目は団体で協力をいただきました。開会式では千歳小学校のマーチング、山形商工会議所青年部のいも煮の振る舞い、市内ライオンズクラブからの物心両面からの援助、トレーナー協会、鍼灸マッサージ関係からの無料の奉仕活動など大会を支えていただきました。

さらに、パフォーマンスでは、霞城公園内でスポーツセンターで活動している子供たちのチアリーディング、同じく北高生のチアリーディング、山形大学生の花笠首領などで参加者に力を与え、商店街では自分の商品を配ったり、沿道のホテルでは、バナナのサービス、ペットボトルを配るなどそれぞれが独自の活動を行ってくれました。

大会への参加者募集は、6月3日から開催しました。ハーフの部(定員3,000人)、4.2195kmの部(定員500人)は10日間で定員に達しました。参加申込者は北は北海道から南は福岡県まで2.195kmを含め3コースで4,010人、30都道府県からの参加者があり、山形市からは、男女合わせて1,612人の参加申込者がありました。

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	55名		39名	
前回修正	55名	49名	49名	100.0%
他クラブで メイクアップ された会員	(山形) 茨木 寛司 (山形北) 茨木 寛司 阿部 浩一 渋谷 一男			

※本日の結果は2週間後に報告 ※修正は2週間前の結果報告
出席会員数÷算出会員数=出席率
算出会員数とは? 出席義務会員+メイク免除会員の出席者
出席会員数とは? 出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員

今回のお食事は...



12月24日の
食事です。

